

本県平均寿命 最下位

2015年の都道府県別
平均寿命ランキング

順位	男性	女性
1	滋賀 81.78(2)	長野 87.67(1)
2	長野 81.75(1)	岡山 87.67(8)
3	京都 81.40(6)	島根 87.64(2)
...
45	岩手 79.86(45)	次城 86.33(44)
46	秋田 79.51(46)	栃木 86.24(46)
47	青森 78.67(47)	青森 85.93(47)

※同じ数字の順位は小数点第3位以下の比較。かつこ内は前回順位

男性9回、女性は4回連続 延び幅向上、成果も

5年ごとの厚労省「15年生命表」

とつ1/4 0

厚労省が13日公表した都道府県別生命表によると、2015年の本県の平均寿命は男性78・67歳、女性85・93歳で全国最下位だった。男性は1975年から10回連続、女性は2000年から4回連続で全国ワースト。県が課題として取り組んできた「短命県」返上はなかつたが、男性の前回(10年)からの延び幅は、全国の死亡率低下で全国3位となり、男女ともに著実に延びた。県は「たしかな本県の実情に応じたきめ細やかな事業展開が確実に成果として表れている」と報告した。

(油川 佳一)

都道府県別生命表「男性80・77歳、女性87歳」は、地域差を分析する「100歳」から10年ごとに実施している。平均寿命は医療の進歩や健康志向を背景に前回の10年調査からすべての都道府県で延びた。男性1位は滋賀81・78歳、女性1位は長野87・67歳、全国平均は

78歳と過去最下位となった。全国平均との差は男性が2・1歳、女性は1・08歳。本県の男女差は7・27歳で前回より0・8歳縮小したものの、3回連続で全国最下位だった。

0、20、40、65、75歳の平均寿命は男女ともに全年齢で最下位だったが、前回に比べ全年齢で男女ともに延び幅が大きくなった。特に男性の延び幅は0、20、40歳で全国平均を上回った。

県は「県基本計画未来を変える挑戦」(14年度)で、特に重点的に取り組む3つの戦略プロジェクトの一つに「健康長寿県プロジェクト」を掲げている。15年の年齢別死亡率を見ると、40代の死亡率の改善幅が全

県最大で、心疾患や自らの死亡も大きく改善した。菊地公英県庁長官は「働き盛りの世代を迎える前の若き世代から、たしかな生活の改善を促すことが大切」と話している。県は「健康長寿県プロジェクト」を掲げ、15年の年齢別死亡率の改善幅が全県最大で、心疾患や自らの死亡も大きく改善した。菊地公英県庁長官は「働き盛りの世代を迎える前の若き世代から、たしかな生活の改善を促すことが大切」と話している。県は「健康長寿県プロジェクト」を掲げ、15年の年齢別死亡率の改善幅が全県最大で、心疾患や自らの死亡も大きく改善した。菊地公英県庁長官は「働き盛りの世代を迎える前の若き世代から、たしかな生活の改善を促すことが大切」と話している。